

大阪樟蔭女子大学生協
 君のリ・リパックで決まる!～組合員参加型新企画投票～



[環境]

取り組み概要

日時：6/3~7/29
 場所：1階北ロビー、食堂
 参加者数や組合員の反応：開催期間中は毎週約60枚回収できた。

背景や概要：リ・リパックの回収率が低いことに加えて、生協学生委員会の認知度が低く、組合員と学生委員会のコミュニケーションが十分に取れていないことから、リ・リパック回収促進のために行っているクイズの内容を、組合員とコミュニケーションを図れるものに変更した。

リ・リパック回収を用いて組合員の声を聞く

POINT.1

継続的な回収を狙う



大阪樟蔭女子大学生協では今回の企画実施以前より、リ・リパック回収を実施していました。2択クイズで答えだと思いう方にリ・リパックを重ねて置いてもらうようになっていました。問題は2週間に1回のペースで替わり、回収ボックスの下に前回のクイズの答えを貼っておくという仕組みです。

組合員が頻繁に通るロビーと食堂に回収ボックスを設置することで、組合員が気軽に社会貢献に参画できる仕組み作りができていました。

POINT.2

リ・リパック×組合員とのコミュニケーション

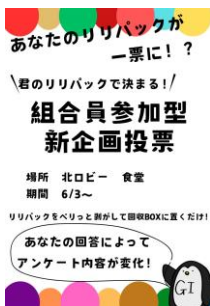
今回のリ・リパック投票は、学生委員会と組合員とのコミュニケーション不足という現状を解決するための企画でもありました。

1回目は「SDGsに興味があるのはどれ？」という質問に対して「①平和、②ジェンダー、③産業、④環境」の選択肢があり、平和の投票数が最も多かったため、2回目は「平和に興味があるのはどれ？」という質問に対して「①健康・福祉・貧困、②戦争・格差問題」という選択肢を設定していました。このように、組合員の回答を踏まえた関連のある質問にすることで、組合員の興味・関心を理解する工夫がされていました。



POINT.3

秋学期以降の新企画へ繋げる



今後の展望として、学生委員会は今回のリ・リパック投票で得られた回答を秋以降の新企画に活かそうとしています。具体的な内容は準備しているところですが、組合員の興味・関心を聞いて、組合員の声を反映させるように次の企画に繋げるとするのは初めての試みです。

学生委員会のXにて宣伝も行い、組合員の声を反映させた企画作りの第1歩を踏み出すことに加えて、学生委員会の取り組みをより多くの人に知ってもらえるようにしていました。

